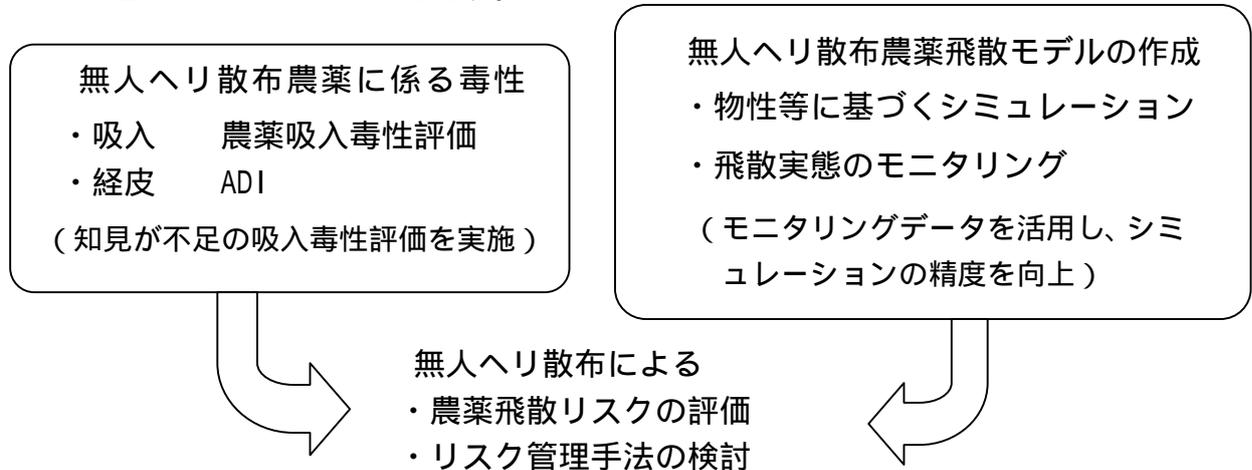


## 農薬の大気経路による影響評価事業の進捗状況と今後の課題

### 1. 事業の概要

無人ヘリコプター散布を対象に、農薬の大気経路による人への健康影響に関するリスク評価・管理手法について検討を行う。



### 2. これまでの実施状況

#### 毒性試験

平成 22 年度実施 : フサライド

平成 23 年度実施 : クロチアニジン、フェリムゾン【資料 4】  
(トリシクラゾール【資料 5】)

既存データあり : ジノテフラン、エトフェンプロックス、フェニトロチオン

#### 飛散モデルの作成

平成 22 年度実施 : 農薬の物理化学的性状の測定  
散布時の粒径分布測定

平成 23 年度実施 : 農薬飛散実態モニタリング調査  
(その他、農水省によるモニタリング結果あり)  
モニタリングデータを活用し、農薬飛散シミュレーションモデルを作成

### 3. 今後の検討課題

#### 毒性評価

- ・今後の吸入毒性試験の実施及び優先順位の検討【資料 6】
- ・無人ヘリコプター散布農薬に係る毒性評価の考え方の検討【資料 7】

#### 飛散モデルの作成

- ・シミュレーションモデルの検証
- ・農薬等ごとのシミュレーションデータの作成
- ・飛散リスク評価・管理手法の検討
- ・ , に基づくリスク評価
- ・リスク管理措置及びその優先順位の検討